

2025年度こども環境学会賞(論文・著作賞)受賞!

声が届かず騒がしい保育室から、子どもの声が自然に響き合う環境へ

# 子どもと音環境

## つぶやきが聞こえる環境づくり

一般社団法人  
こどものための音環境デザイン(ADC) 編  
野口紗生・船場ひさお 編著

A5判並製・208ページ  
ISBN 978-4-87168-730-0  
定価2,420円  
(本体2,200円+税10%)  
2025年10月刊行



保育現場で子どもが大声を出したり部屋から飛び出したりする行動の背景には、「騒がしくて聞こえない」「音がづらい」といった要因が潜んでいるかもしれません。

本書では、そうした子どもたちにとっての「音の世界」を想像しながら、少しでも居心地のよい環境を整えるための視点をお伝えします。



### 本書の構成

- 序章 音の環境から保育を考える  
—子どものつぶやきが聞こえる環境へ—
- 第I部 施設環境について考える  
子どもの育ちを支援する建築音響設計/  
保育・教育施設の音環境 ほか
- 第II部 子ども・保育と音環境の関わり  
子どもと保育者の「聞こえ」を支え、育てる保育室/  
感覚過敏と音環境 ほか
- 第III部 地域社会・文化の視点から  
音環境から考える地域と保育のつながり/  
ドイツにおける子どもと音環境
- 終章 園の落ち着きと音環境  
—子どもの育ちを支える環境づくり—

### 編著者・著者紹介

- 野口 紗生 浜松学院大学地域共創学部講師、(一社)こどものための音環境デザイン理事
- 船場ひさお 駿河台大学メディア情報学部教授、(一社)こどものための音環境デザイン代表理事
- 川井 敬二 熊本大学大学院先端科学研究部教授
- 上野佳奈子 明治大学理工学部教授
- 佐藤 将之 早稲田大学人間科学学術院教授
- 富田 隆太 日本大学理工学部建築学科教授
- 田中 稲子 横浜国立大学都市イノベーション研究院建築都市文化専攻教授
- 志村 洋子 埼玉大学名誉教授。保育施設の室内音環境改善協議会代表
- 由田 新 千葉明德短期大学学長
- 片川 智子 鶴見大学短期大学部准教授
- 高橋 秀俊 高知大学医学部寄附講座児童青年期精神医学特任教授
- 松本 知子 社会福祉法人ひかりの園 浜松市根学学園園長
- 篠沢 薫 洗足こども短期大学助教
- 松橋 圭子 東京都市大学人間科学部准教授
- 片岡 寛子 電気通信大学男女共同参画・ダイバーシティ戦略推進室特任教授
- 吉澤 寿子 ドイツのリサーチ会社Researching Plus GmbH代表取締役
- 高野 泰弘 社会福祉法人志正会 大久野保育園園長
- 山崎 美鈴 社会福祉法人平和会 幼保連携型認定こども園いとよ保育園園長

ご注文は、お近くの書店・販売店へ

エイデル研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9  
TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

注文書	取扱店	注文数	子どもと音環境 一つつぶやきが聞こえる環境づくり— 野口紗生・船場ひさお 編著	
		部	定価2,420円(本体2,200円+税10%)	ISBN 978-4-87168-730-0 C3037
		氏名/団体名		
		住所 〒		
		TEL		

# こんなことはありませんか？

騒がしいのが  
苦手な部屋から  
出ていってしまう

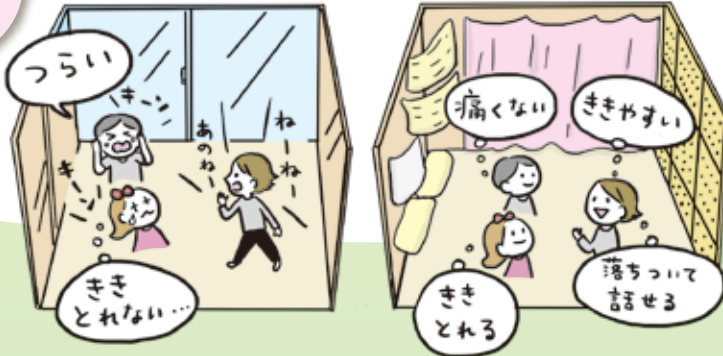
子どもが  
落ち着かない

大声で叫ぶ

保育士の声が  
届きにくいな

大きな音が苦手

さすがに  
ちょっと  
にぎやか過ぎる



イラスト：うつろあきこ

## 音環境の ポイント

### 1 新築園舎で あっても 音の問題が多い

ガラス張りの大きな窓や吹き抜け空間、木をふんだんに使った内装など、視覚的に美しいデザインの園舎は全国に増えています。  
ところが、そうした素材の多くは音を反射するため、結果として音が響き過ぎ、子どもの声やおもちゃの音が増幅されてしまうのです。「見た目は素晴らしいのに、なぜか落ち着かない」「なんとなく耳が疲れる」といった現場の声は、まさに音環境の影響を反映しています。

### 2 解決の ポイントは 「吸音」にあり

「部屋が響き過ぎる」問題への対策としては、「吸音」することが有効です。  
「吸音」とは、音を吸い込むのではなく、子どもの大切なつぶやきを聞くために余分な響きを消すこと。まずは、保育室の内装（天井や壁など）に吸音する材料を使うことが大切です。大がかりな工事を行わなくても、吸音材を貼ったパーティションやボックスなどで「吸音コーナー」をつくったり、カーテンを「吸音カーテン」に変えるなど比較的簡便な方法もあります。



### 3 音環境の改善を 体験した現場の 先生方の声

「騒がしさが低減し、言葉を聞き取りやすくなりました」  
「吸音した部屋から吸音されていない部屋に戻ると、音が気になって仕方がないです」  
「音のことをわかるようになると、子どもの苦しみや気持ちももっとわかるようになりました」  
「職員自身も、自分の声大きいのではないか、とか、色々な気付きが得られました」  
「保育の助けになると思います」

本書には、「吸音による聞こえ方の違い」などを体感的に理解できる複数の動画（QRコード）が付いていますので、ぜひ「音の世界」を体験してみてください。

工夫次第でここまで保育室の響きが変わる！  
実際に保育室の響き比べを体験してみてください

こどものための音環境デザイン(ADC)「保育室の響き 聴き比べ」

